

無料タイツター
100名大募集!

失敗しないダイエットのために！
専門のカウンセラーのアドバイスで
万全のバツクアップ

自己批判のダニエルとしては失敗を繰り返して
る人、何處でも自分の手で売らねばならぬ人、さ
らにダニエルがその無料のボランティア企画に「さ
らに」参加して、ダニエルに最高の商品賣場をア
ドバイに、度々訪問のために出張を繰り返して利
益するのを待たず、ダニエル・ジョーンズをセ
ンチに思っている、毎日の生活に気持に力を入
れ、果しあればダニエル・ジョーンズをめざし
ていこうと決意するダニエルは、
ダニエルはついに「ダニエル・ジョーンズ」
と名乗る。

無料ダイエツトに
チャレンジ!!

① 無料トライアル、女性ゼグナ11/22、系
② 主・住所 ③ 氏名 (山カカ) ④ 生年・月・日 ⑤ 職業 ⑥ 電話
⑦ 性別 ⑧ 投票 ⑨ 一言感想を明記して、FAXま
だらば、FAXで応募下さい。本応募券は12月末日にて抽
選により、当選者はこちらからご連絡いたします。
※当選には、必ず「応募券」レポート作成を要いたします。
※当選には、必ず「応募券」レポート作成を要いたします。

TEL 03-5358-5927

「寺にいたころは、作務衣で過ごしていたから、洋服はほとんど着なかった」と平尾さん。

此邊、電気工事現場の交通警備
 役つからない。牛乳配達、新聞
 送配の条件のよい仕事など、簡単に
 なかつた。とはいふ都云と違ひな
 らんとにかく働かなければなら
 ぬ男を産むが、取人の道が途絶
 実家に戻つた彼女は、無事に

「朝は3時から牛乳配達をや
ていましたから、寝る時間は
1〜4時間しかなかったけど、田
舎だから星空がきれいで、それ
を眺めながら仕事ができる。交
通警備員の仕事をやっていた星
間は、お弁当を食ったあと、車
の中で15分くらい寝るんですけ
ど、これがまたすごく気持ちよ
い。楽しかったですね。睡眠

「最近、リストラが原因で自殺する人が増えています。モノの見方を変えれば、飯のタネはいくらでもあるんですけれどね。」

「え」

女はため息をつく。

「わたしも子供も、テールとカ柳とか燃えないコで使えそうなんです。はたためろ拾ってくると、テールもペーパーも街頭で配っているのを何回も往復してあらってきます。生活のレベルを下ければ、お金かきつればなかり、どうにでもなるものなんですよ」

「このとき生
整百人が感染した。このとき生
徒が家に持ち帰った給食を食べ
たそのきようだいの幼児も感染
してしまつたが、行政は最初の
うち、持ち帰つた分については
感染を認めず、補償しようとし
なかつた。
これに憤慨した彼女は、母親
たちの先頭に立つて市長や市議
会議員にかけあつたという。知
らん顔もできたのに、あえて火
中の栗を拾つたのは、自らも弱
い立場の側で生きてきたからだ
らう。」

「本当は、心理カウンセラーの
資格を取りたいと思つていたん
ですよ。だけど、日本では自分
からカウンセリングを受けに行
くという人は少ない。だつた
ら、こちから押しかけて行つ
て、自主支援をしたほうが人助
けになるなと思ひ、ホームヘル
パーになつたんです」

心を忘れていない。

んは、僧羅を返しても、時衆の生を見つめてきた平尾さ役に立てる。居僧として、人間まれ、どんな形であれ、誰かのこんな命も必然性があるて生ぜひわかつてほしいです」

で救われていくというのをあつても、おおらかに笑つてます。そして、どんな苦境にこの仕事に生き甲斐を感じている護でできる人たちの幅も広がるの、対象になるので、わたしが下の精神障害の人も在宅サードになりたい。来年の春から50歳を必要としている人たちの力に「そういふ風に、本当に援助する人たちが多いという。

ら、文字とおりに路頭に迷つてには、援助の手を必要としながら、知的障害、病弱…、彼らの中には、アルコール依存症、とを訪ね、彼らの悩み相談を受

「オマケ、お前が、
だれのおかげで電氣の
ある贅沢な暮らしでき
ると思つてんだあ」
マインを持つたら人
が變わるぞといふ屋
さんが、おとなしくして
いるはずがない。

と……女の坊さんの結婚は
いけないといふんですね」
板挟みになった平馬さんは
シングルフリーになろうとも考
えた。しかし、子供のためにも
人籍にだけはしてほしと相手が
迫る。根負けした彼女は、婿
居に刑を押し込んだ。

娠する。
「離婚するつもりが、なぜか子
供ができてしまつて」
と苦笑する彼女は、ついに身
重のまま岡山県の実家に逃げる
ようにして帰つた。

彼女は「このことをあま
り語つて shouldn't、小浜を離
れる少し前に、佳織ともども別

彼女を頼りにしていた老師まで置き去りにした。

結局、２年後には老師を引き取り、死に水まで取つたが、良男は、夫の手に委ねたままだつた。

「わたしは、鬼の母かもしれない」

い

彼女は、自分を賣めた……。

そんな年頃の男子の気持ちなど、
気がつかつてか、白髪が目立つか
らして、髪も金髪に染めてゐる。
その頭で、ジーンズにスゴッ
プ、ジーンズにスゴップ、仕事
のときはこれに、エプロンを着けるが、「養母の
お下がりや、友だちからもらつ
た服を着てゐる」というこのカ
シミアルなスナールこそ、質素
儉約を信条とする時來らしい姿
だらう。

實際、彼女はいった西福寺
の住職も、老朽化著しい寺を
わがもの顔で歩き回る野良猫だ
ちと、つましく暮らしてゐた。
平尾さんにとって生涯忘れ得
ぬ師となつたこの住職は、齡85

夫のもとに死してきて長男が誕生した。こ
ろ。小学校を卒業すると、長男は自分か
ら望んで岡山にいた平尾さんと同居した。

を起したいわゆる痴愚老人。驚くほど元気だったが、寺は、108段の石段を上り下りしなければ買ひ物に行けない寓所にあつた。平尾さんはこゝで住職の世話をしてながら、新たな修行生活を始めた。

福井県一帯には原発が多い。原発反対派の幹部を住職から紹介された平尾さんは、4人の主婦と「原子力発電を考える会」を結成。勉強会を開いたり、宣伝カーで講演会への参加を呼び掛けるなど、運動にのめり込んでいった。そんなある日、原発推進派の一回とちから

相手は宗派の異なる格式高い寺の僧侶だった。周囲、とくに親戚双方の檀家が、この結婚には量産初からケチをつけた。「きもちゃった結婚だったんですが、相手は40過ぎまでずっと独身だったから、向こうの寺の檀家の人たちは、わたしが坊主をやめるなら結婚するのめいらいでしよう」と。

でも、うちの住職が、ものすごく怒った。あちらは兄弟多きではない。向こうが養子にくるべきだし。

ところが、うちの檀家の人たちは、結婚したいのなら寺を出

「オムツを洗つた汚れた水が
自分たちの生活の場に流れて
るのは嫌だといわれました」
街を歩くと、白い目で見ら
るのは日常茶飯事。
「ひとときには、主人の甥
子が通う幼稚園にまで嫌がら
ない手紙が送つけられた。も
ろへ主人も嫌みをいわれてい
した。関係のない周囲にまで
がらさが続いて、それがわた
にはすごいストレスだつた」
夫には、何度か離婚届を渡
した。

のトランプルに巻き込まれ、時空
教団に僧籍を返していた。
ただでさえ、檀家の嫌から
に疲れ果てていたところに、偶
箱まで失い、途方に暮れてしま
った。
親権問題で離婚が成立するま
で時間がかかったが、長男は必
親が、次男は平尾さんが育てる
ことで決着がつき、彼女はやつ
と檀家のイシメから解き放され
た。
しかし自由の代償は大きかつ
た。
小浜を離れたことで、彼女は苦
労して生きていた最愛の長男
を自分から手放した。そのうえ

結城氏の記念の一枚。新婚はなすみ色の法衣、新調は黄衣。宗匠の遣いから誓いの言葉も異なり、早くもこの日からめめた。

結婚式の記念の一枚。新婦はねずみ色の法衣、新郎は黄衣。宗派の違いから誓いの言葉も異なり、早くもこの日からもめた。

「るせえ！ 伊達や酔狂で頭割つてんじゃねえぞー」
坊主頭でギロツと腕みつけ
といふ。

えられてゐるように、寺
は檀家が基礎だ。つまり、
檀家の意向は無視できな
い。